

【平成30年度調査研究発表会】
第1分科会(国語)研究発表

教
一
如
教えることは学ぶことである
学び続ける習慣を

未来の創りに求められる資質・能力を
育成する授業に関する研究
ー「主体的・対話的で深い学び」の実現を通してー

鹿児島県総合教育センター
教科教育研修課

1

未来の創りに求められる資質・能力

学びに向かう力・人間性等

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学習内容の質

学習方法の質

知識の理解の質を高める

2

未来の創りに求められる資質・能力

他の学習や生活の場面で生きて働く知識

概念的・構造的な知識

既得の知識及び技能

新たな個別的知識及び技能

使える言語能力

言語能力

学習内容

知識の理解の質を高める

3

学習内容の質を高める視点

教科等の関連付けのイメージ

他の単元

他の単元

他の単元

他の単元

他の教科

他の教科

他の教科

概念的、構造的な知識
(例) 国語科
書くことの工「推敲」

つなぐ鍵は「言葉による
見方・考え方」

社会生活

日常生活

4

学習方法の質を高める視点

I 知識及び技能の習得
(機械的に覚えた知識)
【国語科の知識及び技能】
(1) 言葉の特徴や使い方
(2) 情報の扱い方
(3) 我が国の言語文化

II 知識及び技能の再生
(機械的に覚えた知識の再生)
○ 漢字や語彙の学習
○ 文法の学習(言葉のきまり)
○ 表現技法等の学習

【内化】

【外化】

主体的・対話的で深い学び

III 考えの形成
【課題解決的な言語活動】
A 話すこと・聞くこと
B 書くこと C 読むこと

IV 考えの共有
自他の考えの広がり
自他の考えの深まり

言葉による
見方・考え方
相互の関連・充実

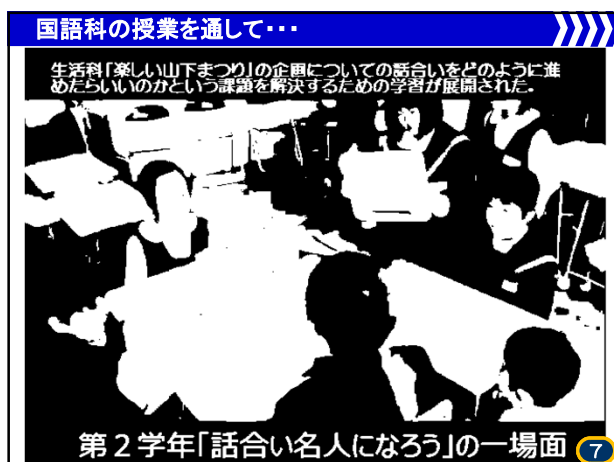
学びの深まり

5

小学校 第2学年「話すこと・聞くこと」の授業実践
単元名「話合い名人になろう」
教材名「みんなで きめよう」(光村図書)

話合いをどのように進めたらいいかな。
話合いでは、どんなことに気を付けたいかな。

6

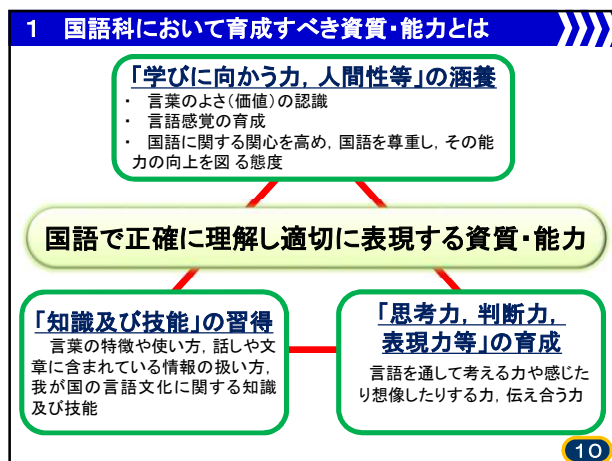


第1分科会(国語)の発表内容

国語科の授業改善の進め方

- 1 国語科において育成すべき資質・能力
- 2 知識の理解の質を高める学習内容
- 3 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習方法

1 国語科において育成すべき資質・能力



1 国語科において育成すべき資質・能力とは

○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に関する配慮事項

単元など内容や時間のまとまりを見通して、 その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童(生徒)の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。 その際、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、 言葉の特徴や使い方などを理解し自分の思いや考えを深める学習の充実を図ること。

新学習指導要領解説 国語編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い
1 指導計画作成上の配慮事項 から

「主体的な学び」・「対話的な学び」・「深い学び」

2 国語科における知識の理解の質を高める学習内容の在り方

2 国語科における知識の理解の質を高める学習内容

○ こんな力(資質・能力)を付けるために

(小学校第3及び第4学年「思考力、判断力、表現力等」の目標)

目標	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになる。
----	--

○具体的にこういう学習内容＝指導事項を

(小学校第3及び第4学年「思考力、判断力、表現力等」「読むこと」の内容①)

指導事項	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。
------	---

○どのような言語活動を通して身に付けさせるかが重要

(小学校第3及び第4学年「思考力、判断力、表現力等」「読むこと」の内容②)

言語活動例	記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。
-------	--

13

2 国語科における知識の理解の質を高める学習内容

「言葉による見方・考え方」を働かせ、言語活動を通して…

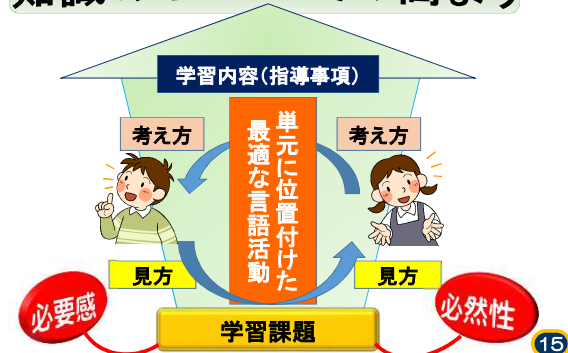
「言葉による見方・考え方」を働かせるとは、児童生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることであると考えられる。

新学習指導要領解説 国語編 第2章 国語科の目標及び内容 第1節 国語科の目標 1 教科の目標 から

14

2 国語科における知識の理解の質を高める学習内容

知識の理解の質の高まり



15

2 国語科における知識の理解の質を高める学習内容

中学校第3学年「握手」の実践例から

学習内容(指導事項)

エピソードの中からルロイ修道士の言動に着目し、人物像を捉え、人とのかわりについて自分の考えをもつ。【C読むこと (1)エ】

言語活動

ルロイ修道士の人物像について自分の考えが伝わる新聞記事「かお」を書く。



学習課題

○ ルロイ修道士のエピソードや言動とその人物像を関係付けて、自分の考えたルロイ修道士の魅力を新聞記事にしよう。

16

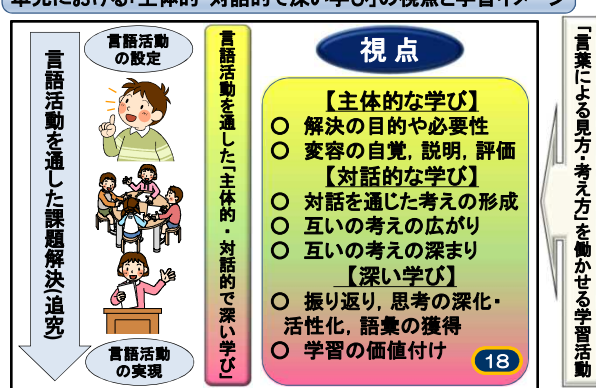
3 国語科における「主体的・対話的で深いび」の視点からの学習方法の在り方



17

3「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習方法

単元における「主体的・対話的で深い学び」の視点と学習イメージ



18

3 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習方法

視点 主体的な学び

主体的な学び

児童生徒が学習の目的や意義を理解して、学習の見通しや進め方について自覚的になっている姿

↓

解決に向かう必要感や必然性のある学習課題

■ 生活や社会とのつながりを意識できる学習課題

解決の見通し・振り返り

何に着目すればいいか。
どのように考えればいいか

「言葉による見方・考え方」を働かせる教師の関わりがポイント

19

3 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習方法

児童生徒が学習の目的や意義を理解して、学習の見通しや進め方について自覚的になっている姿

↓

解決に向かう必要感や必然性のある学習課題

■ 生活や社会とのつながりを意識できる学習課題

解決の見通し・振り返り

何に着目すればいいか。
どのように考えればいいか

「言葉による見方・考え方」を働かせ、学習の見通しをもたせる場

20

「言葉による見方・考え方」を働かせるポイント

何に着目させるか(見方)

- グラフから読み取れる情報(事実)
- 考察文の記述(事実と意見の区別)
- 考えと根拠(データ), 理由付けの文や言葉

↓

どのように考えさせるか(考え方)

- 考え(意見)と理由付けのうらづけとなる根拠の整合性があるか。
- 考え(主張)と根拠(グラフデータ)の関係は。
- 事実に基づく適切な表現になっているか。

↓

学習課題

説得力のある意見文にするためには、どんな資料を使ってどのように説明したり、自分の考えを書いたりしたらよいだろうか。

21

3 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習方法

視点 対話的な学び

対話的な学び

児童生徒相互の話合いや意見交換を通して、互いの考えを共有している姿

↓

「交流」から「共有」を図る場面の設定

■ 他者からの助言を必要とする過程に交流場面を設定する。(必然性のある対話活動)

「質問」、「感想」、「意見」などの助言を通して、異質な意見交換ができるようにすることが重要なポイント

22

助言を通して互いの考えを共有する姿

交流 互いの考えの共通点や相違点を明確にする姿

↓

助言

質問

なぜ～なの?

どうして～なの?

感想

なるほど～だね。

意見

対話的な活動の場

共有

～な考え方をしてみればどう?

助言を通して考えを広げたり、深めたりする姿

23

3 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習方法

視点 深い学び

深い学び

学習を通じて、言葉についての新たな気づきや学習の価値付けができるようになる姿

↓

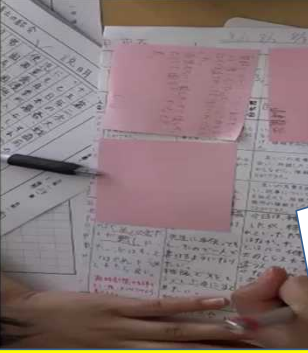
課題の追究から解決に至る自分の思考の過程を振り返らせる

■ 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動の実現を通して学習の成果を振り返らせる。

- ★ 「どのようなことが分かったか、気付いたか」(学習内容)
- ★ 「何ができるようになったか」(学習後の変容)
- ★ 「今後の学習や生活に生かしたいこと」(一般化)

24

3 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習方法



今日は推敲したが、間違いはなかった。自分とはルイ修道士のとらえ方が違う人がいて様々なことが書いてあり勉強になった。この次は、友達の手紙をルイ修道士のとらえ方について考えてみたい。

「言葉による見方・考え方」を働かせ、学習を振り返る場

25

